

- 問1 不景気の際、日本銀行は景気を向上させるために、市中銀行が保有する国債などを買い入れることで、市場に流通する通貨量を増やす政策を行います。このような日本銀行による金融政策の名称を何といいますか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. 預金準備率の引き上げ 2. 所得再分配 3. 買いオペレーション 4. 売りオペレーション
- 問2 中央銀行が国債などの売買を通じて市場の通貨量を調節する「公開市場操作」において、インフレーション（物価の継続的な上昇）の懸念があるなど景気が過熱している際にとられる一連の動きとその影響として、適切なものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 日本銀行が民間銀行の保有する国債を買い入れることで通貨を放出し、金利を低下させることで、消費を活性化させる。
2. 日本銀行が民間銀行に対して国債の発行を停止させ、通貨の新規発行を抑えることで、市場を沈静化させる。
3. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売ることで通貨を回収し、金利を上昇させることで、企業の投資を抑制する。
4. 日本銀行が民間銀行に対して直接的な増税を指示し、通貨の流通量を強制的に減らすことで、物価の安定を図る。
- 問3 景気が過熱し、物価が持続的に上昇することによって通貨の価値が相対的に下落する現象を何と呼ぶか。また、その現象が起きた際の消費者への影響について述べたものとして正しい組み合わせを選びなさい。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
1. インフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨で買える商品の量が多くなるため、実質的な貨幣の価値は上昇する
2. デフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨で買える商品の量が多くなるため、実質的な貨幣の価値は上昇する
3. インフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨で買える商品の量が少なくなるため、実質的な貨幣の価値は下落する
4. デフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨で買える商品の量が少なくなるため、実質的な貨幣の価値は下落する
- 問4 物価が上がり続け、景気が過熱しすぎていると判断される場合、日本銀行が行う「売りオペレーション」による影響として正しいものはどれですか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
1. 日本銀行が円を売って外国通貨を買うことで、円安を誘導し、日本の輸出企業の利益を増やす。
2. 日本銀行が銀行に国債を売ることで、銀行の資金が減り、金利が上がることで企業の借り入れが抑制される。
3. 日本銀行が紙幣を大量に発行して政府に供給することで、政府の借金を肩代わりし、財政の健全化を図る。
4. 日本銀行が銀行から国債を買うことで、銀行の資金が増え、金利が下がることで個人の消費が拡大する。
- 問5 景気が後退している不況期において、日本銀行が市場の通貨量を増やして景気の回復を図るために行う操作として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
1. 日本銀行が定める政策金利を引き上げ、企業が資金を借りにくくする操作
2. 保有している国債などを民間銀行に売却し、市場の資金を吸い上げる操作
3. 民間銀行が日本銀行に預けなければならない資金の割合（準備率）を高く設定する操作
4. 民間銀行が保有する国債などを買い取り、代金を支払うことで市場に資金を供給する操作
- 問6 1980年代後半から日本で発生したバブル経済の特徴について、その背景と内容を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
1. 重化学工業の発展を背景に、10年以上にわたって年平均10%前後の高い経済成長を維持した。
2. 投機目的の資金が流入したことで、土地や株式の価格が経済の実態を超えて急騰した。
3. 長引く不況により物価が継続的に下落し、企業の倒産や失業者の増加が社会問題となった。
4. 石油の供給不足により物価が激しく上昇し、戦後初めて実質経済成長率がマイナスになった。
- 問7 景気が後退している局面において、日本銀行が市場の通貨量を調整して景気の回復を図る「買いオペレーション」の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
1. 日本銀行が保有する国債などを市中の金融機関に売却することで、市場に出回る通貨の量を増やし、金利を下げる。
2. 日本銀行が市中の金融機関から国債などを買い入れることで、市場に出回る通貨の量を増やし、金利を下げる。
3. 日本銀行が保有する国債などを市中の金融機関に売却することで、市場に出回る通貨の量を減らし、金利を上げる。
4. 日本銀行が市中の金融機関から国債などを買い入れることで、市場に出回る通貨の量を減らし、金利を上げる。
- 問8 家計や企業から「預金」として資金を集め、その資金を必要としている別の個人や企業に「貸し出し金」として提供するという、銀行が果たしている「仲立ち」の役割を何といいますか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
1. 支払準備金制度 2. 金融仲介機能 3. 通貨発行権 4. 直接金融
- 問9 金融機関が仲介する「間接金融」の仕組みにおいて、銀行が果たしている役割と責任について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山梨県公立入試 類似)
1. 企業が発行した株式を家計が購入する際、その取引の手続きを代行するだけの役割。
2. 政府の指示に基づいて、特定の公共事業にのみ資金を配分する役割。
3. 預金者から集めた資金を、銀行自身の判断と責任で企業などへ融資する役割。
4. 家計が直接企業に資金を貸し付ける際に、貸し倒れのリスクをすべて家計に負わせる役割。
- 問10 景気変動のモデル図において、経済活動が停滞し、景気の「谷」にあたる時期に日本銀行が実施する金融政策について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場に流通する通貨量を減らす政策
2. 日本銀行が紙幣の発行を停止し、民間の経済活動を制限する政策
3. 政府が所得税や法人税の税率を引き上げ、景気の過熱を抑制する政策
4. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い入れ、市場に流通する通貨量を増やす政策
- 問11 不景気の際に日本銀行が行う金融政策のうち、一般の銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」の目的と仕組みを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)
1. 銀行が保有する資金量を増やし、貸し出し金利を下げることで、企業への融資を促す。
2. 銀行が保有する資金量を増やし、預金金利を上げることで、個人の貯蓄を促進する。
3. 銀行が保有する資金量を減らし、貸し出し金利を上げることで、過剰な消費を抑える。
4. 銀行が保有する資金量を減らし、市場の通貨流通量を制限することで、物価の上昇を抑える。
- 問12 日本銀行が「発券銀行」として日本銀行券（紙幣）の供給量を調節し、金融政策を行うことで達成しようとしている、経済上の最も重要な目的は何ですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 外国との貿易を制限し、国内市場の独占を維持すること
2. 全ての国民に対して均等に現金を配分し、所得格差を是正すること
3. 政府の財政赤字を埋めるために、無制限に貨幣を増刷すること
4. 物価を安定させ、国民経済を健全に発展させること